

ボランティア活動手順

- ① 「参加申込をしたい人がやること」
 - 1、団体へ登録
 - 2、居住地の社協でボランティア保険に加入（現地加入もできるが職員の負担軽減を）

- ② 「申込後、活動の詳細（日程、場所など）確定までの流れ」
 - 1、スタッフから返信のメール、活動場所の確定
 - 2、交通チケットの手配（ご自身で）
 - 3、宿泊場所の手配（災プロスタッフが代行することもあります）
 - 4、スタッフより現地リーダーの連絡先と集合場所を連絡
 - 5、現地リーダーへ連絡 ※スタッフより事前指示のある場合のみ

- ③ 「現地での流れ」
 - 1、ボランティアセンターへ登録（災プロスタッフが代行することもあります）
 - 2、活動場所へ到着後、現地リーダーとともに保健師／担当部署へ挨拶
 - 3、治療室へ（スタッフが事前に広報し、できるだけ予約をとってあります）
 - 4、患者さんがいらしたら
治療開始前に
 - ・氏名、部署等の記録（調整員が行う場合あり）
 - ・血圧測定→記録（調整員が行う場合あり）
 - ・カルテへの記録【重要】
 - 1、患者さんの話から得られた情報
 - 2、身体診察・検査から得られた客観的な記録（検査所見など）
 - 3、評価。1と2から考えられる全体像
 - 4、治療方針、治療内容、行った生活指導 の順で記載します。
 - 5、治療：事故のないように、消毒その他、どうぞよろしくをお願いします。

- ④ 「活動終了後の流れ」
 - 1、片づけ、掃除。
 - 2、当日加療した全員分の記録（カルテと別紙の報告用紙）を担当保健師／部署へ提出。
その際、血圧の異常値や特に報告すべき点には赤で印を付記すること。
 - 3、帰宅後、スタッフより送られてくる感想用紙に記入返信をお願いします
 - 4、活動に要した費用の領収書を指定の住所へ発送（助成金認可された場合に限る）

2011/05/20 作成 2023/02/28 改訂
災害鍼灸マッサージプロジェクト